



平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月4日

上場会社名 株式会社MCJ

上場取引所 東

コード番号 6670 URL <http://www.mcj.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼最高経営責任者 (氏名) 高島 勇二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼最高財務責任者 (氏名) 石戸 謙二

TEL 03-6739-3991

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	28,395	13.1	1,993	4.4	2,036	3.6	1,389	9.4
29年3月期第1四半期	25,109	2.3	2,084	81.2	2,111	82.2	1,533	99.6

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 1,146百万円 (11.7%) 29年3月期第1四半期 1,297百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	28.58	
29年3月期第1四半期	31.54	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	53,850	28,543	52.1
29年3月期	55,963	28,661	50.4

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 28,069百万円 29年3月期 28,211百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		26.00	26.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		0.00		28.13	28.13

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	54,190	7.2	3,361	18.8	3,389	24.2	2,341	25.6	48.14
通期	114,953	5.7	8,000	7.2	8,013	6.8	5,470	8.8	112.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	50,862,300 株	29年3月期	50,862,300 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	2,231,137 株	29年3月期	2,231,137 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	48,631,163 株	29年3月期1Q	48,631,266 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3頁「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

<連結経営成績の概要>

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や設備投資、個人消費は緩やかな回復基調であるものの、欧米の政治動向に対する懸念など、海外経済の影響等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの属するパソコン市場においては、世界市場については、市場の低迷はやや緩和しつつあるものの、引き続きパソコンの総出荷台数は減少しました。国内市場の当第1四半期の出荷台数は前年同期比で1.3%減少したものの、出荷金額については、前年同期比で3.3%増加しました。

このような状況の中、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は28,395百万円（前年同四半期比13.1%増）、営業利益は1,993百万円（同4.4%減）、経常利益は2,036百万円（同3.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,389百万円（同9.4%減）と、当初の計画通り増収減益となりました。

売上高が順調に拡大している一方で、減益となった要因については、前期は下期に集中的に広告宣伝を実施し、前第1四半期においてはテレビCMの実施等を行っていなかったのに対し、当第1四半期においては、テレビCMも含めた広告宣伝費を積極的に配分し、継続的に売上拡大の為に先行投資を実施していることによるものです。

セグメントごとの業績は次のとおりです。

① パソコン関連事業

「mouse」ブランド及び高付加価値、特化型製品を取り扱う、クリエイター向けパソコン「DAIV」、ゲーム向けパソコン「G-Tune」等のBTO（受注生産）、完成品パソコンの製造・販売と、「iiyama」ブランドによるモニタの欧州販売を中心に、マーケットのニーズを的確に汲み取りながら事業を展開してまいりました。

高付加価値、特化型製品の継続的な好調に加え、mouseブランドの認知度向上や国内パソコン市場におけるマーケットシェアの拡大を目指し展開しているテレビCMやWeb広告等のマスメディア向けの広告宣伝効果により売上高が伸長したことや、欧州でのモニタ販売が引き続き好調となったことから、当事業における当第1四半期連結累計期間の売上高は27,587百万円（前年同四半期比13.9%増）となった反面、営業利益については前述の通り、当第1四半期において積極的な広告宣伝を展開した結果、1,954百万円（同1.1%減）となりました。

② 総合エンターテインメント事業

「aprecio」ブランドで複合カフェ店舗の運営を行っており、一部既存店については黒字転換したものの、既存店全体では営業利益が前年を下回り、当第1四半期連結累計期間の売上高は814百万円（前年同四半期比9.0%減）、営業利益は60百万円（同39.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は53,850百万円となり、前連結会計年度末と比べて2,112百万円の減少となりました。これは主に、受取手形及び売掛金、並びに棚卸資産が減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は25,306百万円となり、前連結会計年度末と比べて1,994百万円の減少となりました。これは主に、買掛金や未払法人税等、長期借入金が減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は28,543百万円となり、前連結会計年度末と比べて118百万円の減少となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が増加したものの、為替換算調整勘定の減少等によりその他の包括利益累計額が減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第1四半期連結累計期間の業績につきましては、平成29年5月12日に公表しました予想数値に対し概ね順調に進捗しており、通期の連結業績予想の修正を必要としない範囲で推移しております。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示してまいります。

当社グループは、主力事業であるパソコン関連事業においてマーケットのニーズを的確に汲み取りながら、平成28年5月13日に公表しました2019年度を最終年度とする中期経営計画に基づき、広義のITデバイス製品のタイムリーな開発・仕入れ・販売等を通じて、従来から持つ競争力を引き続き強化するとともに、M&A等により進出した新規事業分野を積極的に育成し、連結業績予想及び中期経営計画の達成に向けて経営努力を重ねてまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,881,183	14,550,450
受取手形及び売掛金	12,634,204	10,891,738
商品及び製品	13,709,661	13,783,614
仕掛品	1,188,120	1,155,751
原材料及び貯蔵品	4,324,519	4,145,661
その他	1,873,797	2,047,824
貸倒引当金	△12,817	△7,568
流動資産合計	48,598,669	46,567,471
固定資産		
有形固定資産	4,501,228	4,465,651
無形固定資産		
のれん	640,567	627,657
その他	475,180	471,026
無形固定資産合計	1,115,747	1,098,683
投資その他の資産		
その他	1,822,072	1,792,475
貸倒引当金	△74,624	△74,144
投資その他の資産合計	1,747,448	1,718,331
固定資産合計	7,364,424	7,282,666
資産合計	55,963,094	53,850,137
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,750,648	7,166,461
短期借入金	5,131,224	5,257,811
未払法人税等	1,320,330	347,728
製品保証引当金	725,767	777,907
その他の引当金	526,917	543,616
その他	3,628,165	3,554,422
流動負債合計	19,083,054	17,647,947
固定負債		
長期借入金	7,220,703	6,663,382
退職給付に係る負債	294,915	293,316
その他	702,678	701,813
固定負債合計	8,218,296	7,658,511
負債合計	27,301,351	25,306,458

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,849,104	3,849,104
資本剰余金	8,502,982	8,502,982
利益剰余金	16,640,972	16,766,301
自己株式	△470,144	△470,144
株主資本合計	28,522,914	28,648,244
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,131	3,131
為替換算調整勘定	△351,494	△608,408
退職給付に係る調整累計額	37,170	26,822
その他の包括利益累計額合計	△311,192	△578,454
非支配株主持分	450,021	473,889
純資産合計	28,661,743	28,543,679
負債純資産合計	55,963,094	53,850,137

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	25,109,306	28,395,538
売上原価	19,040,446	21,908,056
売上総利益	6,068,859	6,487,482
販売費及び一般管理費	3,984,678	4,494,444
営業利益	2,084,180	1,993,037
営業外収益		
受取利息	3,840	14,824
為替差益	33,707	26,305
負ののれん償却額	4,604	4,604
受取手数料	23,172	14,769
その他	8,964	12,791
営業外収益合計	74,288	73,296
営業外費用		
支払利息	7,363	14,114
支払手数料	11,173	12,997
貸倒引当金繰入額	19,000	-
その他	9,389	3,060
営業外費用合計	46,926	30,173
経常利益	2,111,542	2,036,160
特別利益		
固定資産売却益	433,872	1,075
関係会社株式売却益	112,683	-
特別利益合計	546,555	1,075
特別損失		
固定資産除却損	931	225
減損損失	923	-
災害による損失	2,951	-
訴訟損失引当金繰入額	512,389	-
特別損失合計	517,195	225
税金等調整前四半期純利益	2,140,902	2,037,010
法人税、住民税及び事業税	694,872	526,883
法人税等調整額	△133,292	96,517
法人税等合計	561,579	623,401
四半期純利益	1,579,322	1,413,608
非支配株主に帰属する四半期純利益	45,394	23,868
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,533,928	1,389,740

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	1,579,322	1,413,608
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△271,119	△256,914
退職給付に係る調整額	△10,577	△10,347
その他の包括利益合計	△281,696	△267,262
四半期包括利益	1,297,625	1,146,346
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,252,231	1,122,478
非支配株主に係る四半期包括利益	45,394	23,868

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	パソコン 関連事業	総合エンターテ インメント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	24,215,179	894,126	25,109,306	—	25,109,306
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,882	643	9,525	△9,525	—
計	24,224,062	894,769	25,118,831	△9,525	25,109,306
セグメント利益	1,977,469	100,081	2,077,551	6,629	2,084,180

(注) 1. セグメント利益の調整額6,629千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△133,735千円、セグメント間取引消去140,560千円、その他の調整額△195千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	パソコン 関連事業	総合エンターテ インメント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	27,581,536	814,002	28,395,538	—	28,395,538
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,910	—	5,910	△5,910	—
計	27,587,446	814,002	28,401,448	△5,910	28,395,538
セグメント利益	1,954,968	60,370	2,015,339	△22,301	1,993,037

(注) 1. セグメント利益の調整額△22,301千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△166,257千円、セグメント間取引消去144,366千円、その他の調整額△410千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。